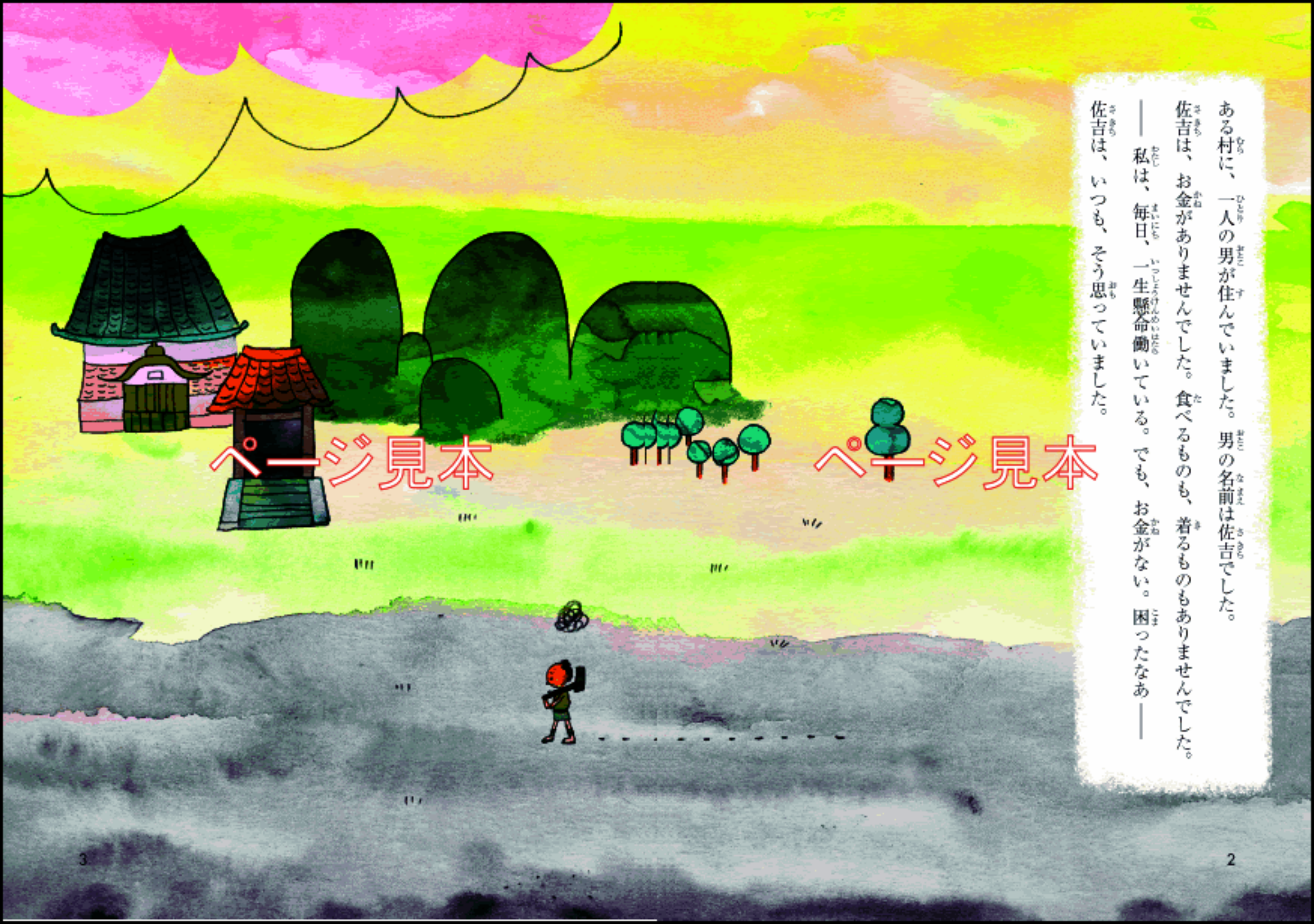


ある村に、一人の男が住んでいました。男の名前は佐吉でした。
佐吉は、お金がありませんでした。食べるものも、着るものもありませんでした。
——私は、毎日、一生懸命働いている。でも、お金がない。困ったなあ——
佐吉は、いつも、そう思っていました。

ページ見本

ページ見本



あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。
二人には、子どもがいませんでした。
二人は、「子どもをください、子どもをください」と、
毎日、毎日、神様にお願ひしました。



ページ見本



すると、ある日、
男の子が生まれました。

おじいさんとおばあさんは、

「よかった、よかった。子どもが生まれた」

「元気な男の子だ」

と言って、とても喜びました。

でも、その子は、とても小さな子どもでした。

背は、三センチぐらいでした。

三センチは、古いことばで「一寸」です。

おじいさんは、

「この子は、『二寸の男の子』だから、名前は『二寸法師』だ」と言いました。

ページ見本



おじいさんとおばあさんは、一寸法師を、とても大切にしました。
一寸法師は体は小さいですが、とても元気で、頭がいい子どもでした。



ページ見本



日本一の山

日本人は、富士山が大好きです。外国でも富士山は有名です。

どうしてでしょう？

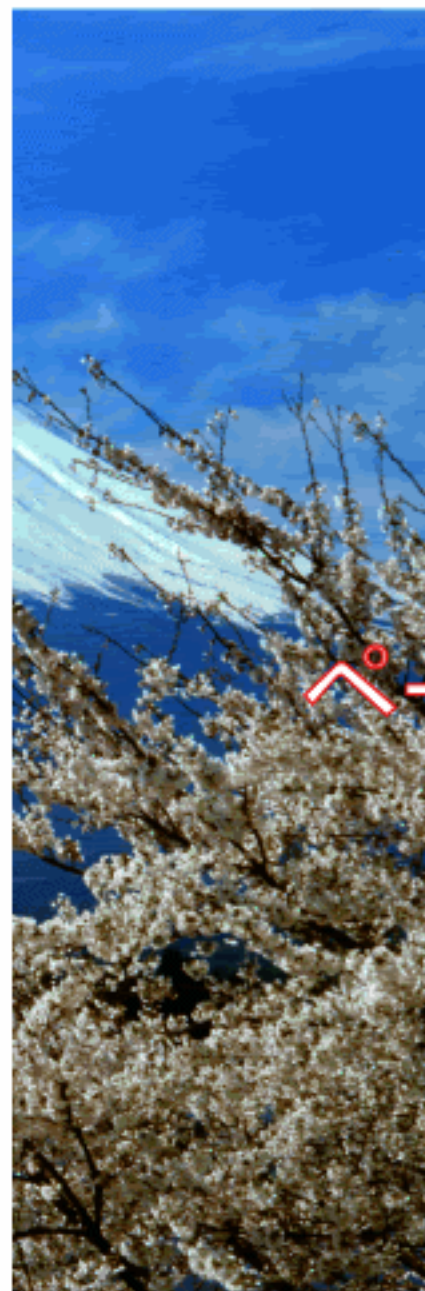
それは、富士山が日本で一番高く、とてもきれいな山だからです。

三 七 七六メートルあります。

そばに高い山がありませんから、富士山は、遠くからもよく見えます。

きれいな富士山が見えると、とてもうれしくなります。

ページ見本



河口湖から見える富士山

<写真提供>四季の富士：菅沼製夫
<http://g-news.jp/fujisan>